

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	11	施策名	歴史・文化の継承		
小施策コード	11-2	小施策名	博物館施設の整備・充実		
小施策 主管課等コード	204500	小施策 主管課等名	歴史文化課		
評価責任者名	杉本 浩		内線番号	7350	
評価シート作成者名	福田 淳		内線番号	7351	

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
文化財数（国・県・市指定）	↑	件	270	271	273	276	281
まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	↑	%	58.6	56.7	56.8	61.8	65.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市民等，博物館施設	市民に地域の歴史や文化を知ってもらう。
現状と課題	博物館等施設は，その適切な管理運営と計画的な保全，整備に努める必要がある。
取組の方向性	各施設の老朽化対策を進め，必要な施設整備を行う。また，各施設では，その施設の特徴を生かした事業を展開し，市民へ学習機会を提供し，歴史や文化に対する理解が深まるような運営を行う。

### Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
博物館施設入館者数	↑	人	360,816	407,735	416,327	361,937	363,437

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

### Step 4 市民ニーズの把握

- ・ まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合は、56.8パーセントとなっており、各施策の更なる推進が必要と考えられる。
- ・ 各施設における企画展では、アンケートを実施しているが、「展示内容の説明の仕方を解りやすくしてほしい。」等の要望を受けている。

### Step 5 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	修繕など必要な施設整備を行い、各施設では市民ニーズを把握し企画展など特色ある事業を実施する。	40
	国・県・ 他自治体	施設の建築時に、起債など財政負担を担う。	20
	市民・ NPO	実行委員会の組織等により各種行事を実施する。	20
	企業・ その他	指定管理者として博物館施設を管理・運営する。	20

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

文化財保護法の趣旨も踏まえ、現状維持とするものである。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 市民を施設に迎えるばかりでなく、施設から出向く「出前講座」の更なる拡大とそのためあらゆる会議等の場でPRに努める。
- ・ 国の財政的支援措置を得るため、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定に取り組む。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
市民を施設に迎えるばかりでなく、「施設から出向く出前講座」の更なる拡大とあらゆる会議等の場でPRに努める。	小学校と中学校の教員に対し出前講座メニューの周知チラシの配布等により利用促進を図った。	A
国の財政的支援措置を得るため、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定に取り組む。	計画策定に向け庁内関係課による会議を開催し計画の検討を行ったほか、国に協議を行った。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

博物館施設入館者数が、平成27年度から約8,800人(2%)増加した。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 各施設が、市民のニーズに対応した企画展示等、特色ある事業を展開したことによる。
- ・ 各施設が、学校利用を促進するため教職員向けに博物館利用の手引きを作成し、各館のPRを行ったため。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

来館者数が伸び悩んでいる施設については、「出前講座」の充実など、それぞれの施設の実情を踏まえた利用促進策の検討が必要。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

施設の修繕箇所が増加

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

施設の老朽化が進み、限られた予算の中で対応し切れていない部分があるため、未修繕の箇所が多く残っている。

### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

修繕を要する箇所 の優先順位の見直しを行いながら対応を継続する。

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業  
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 各施設案内のPR強化のほか、市民等の自発的な来場に期待するばかりでなく、施設外へ出向く「出前講座」の充実も図っていく。
- ・ 歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定により期待できる効果も踏まえながら博物館施設の整備・充実に取り組む。